

秋田公立美術大学
卒業・修了展2024



2.15thu ~ 2.19mon
10:00 ~ 18:00 最終入場 admission free
17:30 入場無料
初日開場13:00 / 最終日閉場17:00(最終入場16:30)

会場
秋田県立美術館
秋田市にぎわい交流館AU
秋田市文化創造館



専攻紹介

アーツ&ルーツ専攻

自然や文化の根源(Roots)と繋がった芸術(Arts)の創造を目的とし、フィールドワークで得られた成果に哲学的・人類学的な考察を加えた主題を、様々なメディアで表現します。学生自身で各学年を象徴する「トータル」(あるグループの起源や性質をあらわす動植物等の名称)を決め、人間や人間ならざるものとの相互交流を深めながら、地域と世界とを繋ぎ、過去と未来を結ぶ柔軟かつ実践的な感覚を養います。

ビジュアルアーツ専攻

絵画、彫刻、テキスタイル、パフォーマンス、インスタレーション、メディアアート、イラストレーション等の領域による美術作品を構成する基本的な要素との関係性を探り、作品制作の方法を捉え直します。そして、それらの多面的融合により、自由で新たな美術表現を探究します。既成概念にとらわれることなく常に問題意識を持ち、美術を通じて地域や世界と共有される新たな価値の創造に貢献することを求めています。

ものづくりデザイン専攻

「木工・漆芸・彫金・染色・陶芸・ガラス」の6素材にプロダクトデザインを加えた7領域から、素材の特性や加工技術、現代社会におけるものの在り方を思考し提案していくことを目指しています。また秋田の文化風土にも着目し、豊かで多様な価値観を探る取り組みを行っています。現実世界に存在する確かな手応え、自らの身体感覚を抛り所に、時間を超えて愛される作品の制作提案を研究しています。

コミュニケーションデザイン専攻

コミュニケーションに内在する今日的な課題に取り組むための思考と表現について、ビジュアルデザインの立場から研究し学びます。課題の発見から解決案の検討、企画、制作、検証という一連のプロセスに基づいてグラフィック、Web、パッケージ、写真、漫画、イラストレーション、動画、エディトリアル等のさまざまな表現手法を用いて具体的な課題を通して学び、それらを横断する幅広い観点からデザイン・ディレクションを行います。

景観デザイン専攻

私たちが生きる社会の可能性と課題がその土地の歴史や自然環境とともに様々な次元で交差する現場を「景観(ランドスケープ)」として定義し、学生一人一人により異なる多様な表現領域(ランドスケープや建築のデザイン、社会批判を担うパブリックアートやドキュメントのプロジェクト、まちづくりの計画立案とそのための公共型ワークショップ等)に取り組みます。そのための基礎作業として「フィールドワーク」を重視し、自らの身体を「景観」の現場に置き、感覚・知識・経験を総動員してその場所の本質を見抜く作業に取り組みながら、社会の変革を促しうるアートとデザインの手法を学びます。

タイムテーブル

2.15^{thu}

● 13:00~
オープニングセレモニー

にぎわい交流館AU1階にて、オープニングセレモニーを行います。主催者代表の挨拶などを予定しています。

● 13:30~
ギャラリーツアー

オープニングセレモニー終了後、にぎわい交流館AU・県立美術館・文化創造館の3館を巡ります。
※開始時間が前後する可能性があります。ご了承ください。

イベント

ここに、ボーダーレス講評会

期間 2.16^{fri} ~ 2.18^{sun} 会場 秋田県立美術館から
※講評する作品の展示場所に合わせて会場を移動します。

各種SNSから最新情報をチェック!



2.16^{fri}

● 13:00~15:00



曾根博美

秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻教授。キュレーター、米国心理療法士。つくる心と人生の相談所主宰。美術評論家連盟会員。1990年代の東京のアートシーン黎明期に、キュレーター・評論家・アートマネジメント・ライターとして活動。2000年ロサンゼルスに移住。臨床心理カウンセリングの大学院を修了し、福祉事務所に勤務。帰国後、カウンセラーの経験を生かした新たなアートのアプローチを模索している。

『ボーダーレス講評会』って何するの？

本学では、作品を制作し終えた後に、学生が自身の作品について語り、それに対して教授らが質問や批評をする「講評会」が行われます。今回のイベントでは、講評を頂く機会が少ない他専攻の教員や、実際に社会で活躍されているゲストの方々をお呼びして、より多角的な視点から作品を紐解いていきます。普段美大の中で行われている「講評会」の様子を覗くことができるイベントとなっているので、お時間のある方はぜひお立ち寄りください!

2.17^{sat}

● 10:00~12:00



石倉敏明

秋田公立美術大学アーツ&ルーツ専攻准教授。芸術人類学や比較神話学の研究に基づき、アーティストや作曲家との共同プロジェクト、展覧会企画等を行う。2019年第58回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館展示「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」に参加。企画協力に「Material, or」(21_21 DESIGN SIGHT、2023年)等。

● 14:30~17:30



地村洋平

東京藝術大学ガラス造形研究室テクニカルインストラクター。東京藝術大学で鍍金を学んだ後、富山ガラス造形研究所にてガラスを始める。その後、東京藝術大学にて博士号を取得し、現在同大学ガラス造形研究室のテクニカルインストラクターを務める。金属やガラスの造形技法をプラスチック等の素材にも発展させ、工芸の発想に基づきながらもインスタレーションやパフォーマンス等、様々な表現方法へ展開している。

2.18^{sun}

● 10:00~12:00



尾花賢一

秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻助教。人々の営みや、伝承、土地の風景や歴史から生成したドローイングや彫刻を制作。虚構と現実を往来しながら物語を体感していく作品を探究している。近年の主な展示:表現の生態系(2019年)/VOCA2021/みちのおくの芸術祭山形ビエンナーレ(2021年)/国際芸術祭あいち2022/瀬戸内国際芸術祭2022/等。また、「VOCA2021」ではVOCA賞を受賞。

● 14:30~17:30



小野寺康

小野寺康都市設計事務所 代表 / 一級建築士 / 技術士(建設部門)。秋田公立美術大学非常勤講師。東京工業大学大学院社会学専攻修士課程を修了後、アプル総合計画事務所勤務を経て個人事務所を設立。個々人の自由と多様性の上に成り立つこれからの都市計画・設計を、人間が生活する質的豊かさや文化を基準に考え実践する。身近な事例に、秋田駅西口バスターミナルの計画・設計がある。

「ここにいる、ここがある」

本学には、表現媒体や専攻という区切りに捉われず、自由で横断的に学ぶことができる環境があります。この場所で私たちは、芸術の探求と創造に日々励み、自分自身の表現や在り方を追い求めてきました。今年度のテーマには、互いの違いを認め合い「個」を大切にしながら制作に向き合ってきたという「**此処にいる、個々がある**」、そしてコロナ禍で曖昧な距離感の中、手探りで少しずつ居場所を作ってきたという「**個々に要る、此処がある**」のふたつの意味が込められています。本展覧会は、「ここ」で生きてきた「ここ」の存在の証明です。

企画

カフェ光風 × 秋田公立美術大学卒業・修了展2024

卒業・修了展の期間中に、秋田公立美術大学の学生作品が実際にカフェ内で提供、販売されます。器やコースターなど、ここでしか出会えない作品たちを、観て、触れて、感じてください。



【日時】※営業時間は美術館の開館時間に準じています。
2024年2月15日(木)~2月19日(月)
10:00~18:00 (ラストオーダー17:30)
【場所】
〒010-0001
秋田県秋田市中通1丁目4-2秋田県立美術館2階
【主催】
秋田公立美術大学卒業・修了展2024実行委員会
イベント部門

会場情報

秋田県立美術館
〒010-0001
秋田県秋田市中通1丁目4-2

秋田市にぎわい交流館AU
〒010-0001
秋田県秋田市中通1丁目4-1

秋田市文化創造館
〒010-0875
秋田県秋田市千秋明徳町3-16

【アクセス】
徒歩：秋田駅西口より徒歩約10分
バス：秋田中央交通路線バス「千秋公園入口」下車徒歩約5分
自動車：秋田自動車道秋田中央ICより約10分
※車でご来場の場合、周辺の有料駐車場をご利用ください。

【お問合せ】
秋田公立美術大学学生課 ☎018-888-8105(平日8:30-17:15)

主催：秋田公立美術大学卒業・修了展2024実行委員会 / 秋田公立美術大学
後援：秋田市 / 秋田魁新報社 / NHK秋田放送局 / ABS秋田放送
AKT秋田テレビ / AAB秋田朝日放送
CNA秋田ケーブルテレビ / あきびネット

